

下岡田官衙遺跡が 国史跡に指定されました

(令和3年3月26日指定)

下岡田官衙遺跡（しもおかだかんがいせき）は、古代山陽道沿いの国により設置された8世紀中ごろの安芸駅家（あきうまや）の可能性が高い遺跡であり、山陽道沿線における官衙の展開を知る上でも重要な遺跡です。

※国指定史跡とは、我が国にとって歴史上または学術上価値が高く、継続的な保護・活用が必要な遺跡等をさしています。



府中町では、遺跡の保存・整備を進めていくとともに、遺跡を活用した学習機会の提供等を行っていきます。

**寄附を通じて府中町の取り組みを
ご支援していただける企業様を
お待ちしております！**

